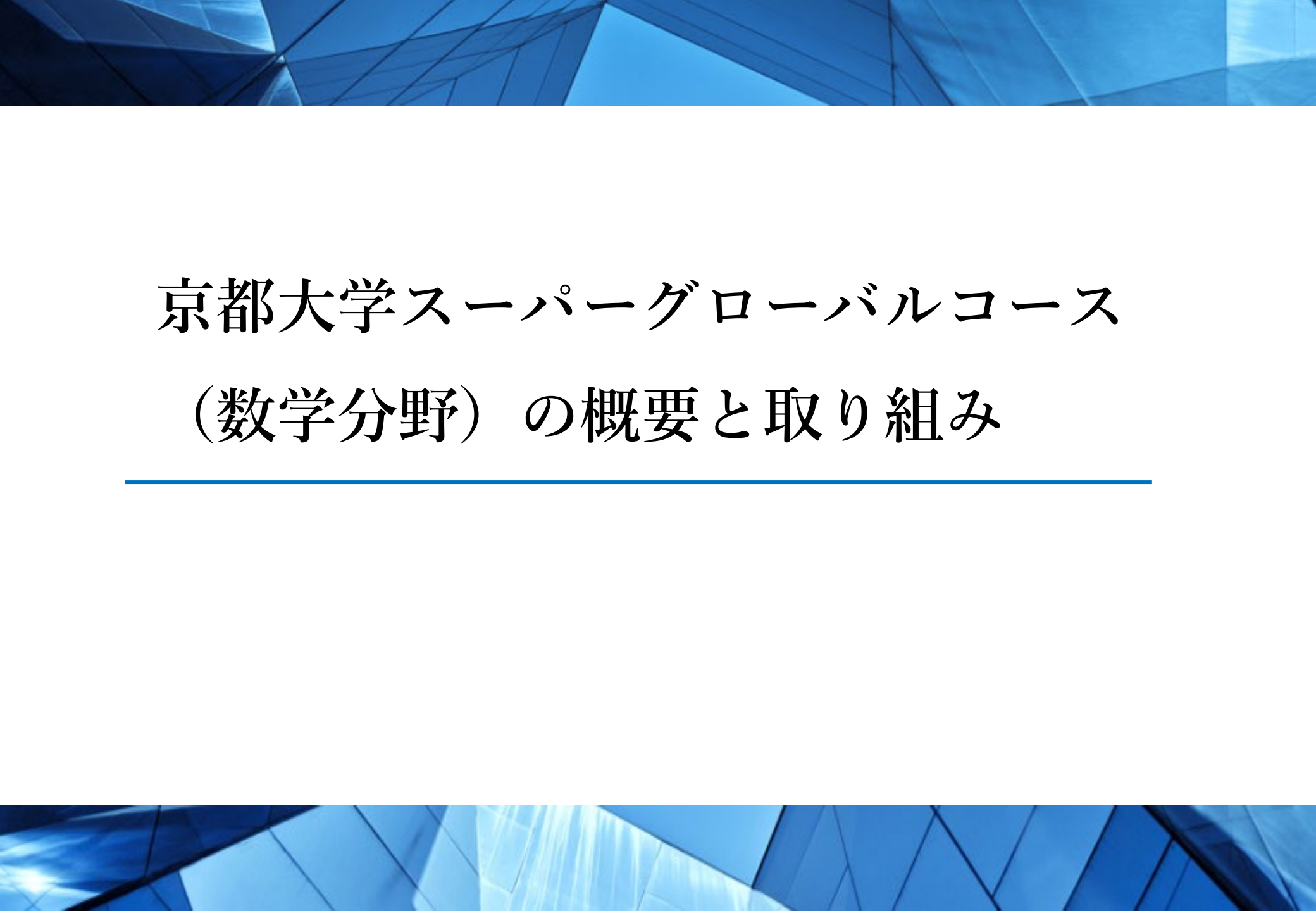


The background of the slide features a blue geometric pattern of overlapping triangles and lines, creating a modern, architectural feel. The pattern is more prominent at the top and bottom edges, fading into a white background where the text is located.

京都大学スーパーグローバルコース (数学分野) の概要と取り組み

京都大学のスーパーグローバルコース（数学分野）の概要

理学研究科数学・数理解析専攻と数理解析研究所は、数理科学の広範な分野をカバーする世界最高水準の研究者集団を擁しており、時代を先導する研究を数多く行って来た伝統を持っています。京都大学では、この両者が協力して数学の教育と研究を行っており、構成員や卒業生が世界的に著名な賞を受賞し、あるいは国際数学者会議で基調講演者に選ばれる等の顕著な業績を挙げています。

このような最先端の研究を行う教員からきめ細かい指導を受けることで、数学・数理解析専攻の大学院生は、いち早く数学研究の最前線に到達できます。また、両部局では国内外の諸大学の研究者や学生との交流が活発に行われており、特に数理解析研究所は共同利用・共同研究拠点として毎年多くの研究集会を開催しており、第一線の外国人研究者も多数訪問するため、大学院生が自然な形で国際性を身につける環境が整っています。

京都大学の「ジャパン・ゲートウェイ構想」における数学分野では、このような本学の数学における研究と教育の強みを活かすと共に、フィールズ賞受賞者等の世界トップレベル大学に所属する国際的評価の高い研究者を特別招へい教授として雇用して、特別講義などの形で広い範囲の学生の教育に従事してもらい、また本学の教員と共同で学生の研究指導を行うことを中心として、数学系スーパーグローバルコースを設置しました。このコースに登録した学生は、特別招へい教授などの海外研究者を副指導教員として、主指導教員である本学教員と共同の学位指導により、本学と当該大学の両方で学位論文に取り組みます。これにより、高い数学の研究能力に加えて、十分な語学力と海外での研究経験から国際的研究ネットワークを作り、学位論文の成果が直接国際的に周知されることで、学位取得後直ちに国際舞台で活躍できる機会が得られます。また、国際的な環境の中で切磋琢磨することにより、若手研究者の中から国際的な受賞などの大きな研究成果も期待できます。さらには、学部生対象の講義やセミナーなどのプログラムも用意されており、数学に意欲のある学生は、早い段階から高いレベルの数学の学修・研究に取り組めます。

最初のコース修了者が誕生した平成27年以来、これまでに39名のコース修了者を輩出しています。



スーパーグローバルコース（数学分野）の主な内容



【これまでの活動や取り組み】

- ・ フィールズ賞受賞者等の世界トップレベル大学に所属する国際的評価の高い海外研究者が、特別招へい教授として副指導教員の職務を担い、本学教員とともにコース生の共同学位指導に従事。
※2023年度までに共同学位指導を行った海外研究者の所属機関は、ヨーロッパ・ロシア地域14機関、北米地域14機関、南米地域2機関、中東地域1機関、アジア地域3機関。詳しくはコースHP「過去の実績」の「スーパーグローバルコース（数学分野）修了者」を参照。
※共同学位指導を含むコース修了要件を満たした学生にはスーパーグローバルコース（数学分野）の修了認定書を交付。
- ・ 著名な海外研究者による特別講義（毎年5～6講義を開講）や特別講演会の開催。
※詳しくはコースHP「過去の実績」の「特別教員による講義」を参照。
- ・ 著名な海外研究機関への大学院生海外派遣事業の実施。
※本事業によるこれまでのコース生海外派遣数：**240件以上**
- ・ 海外渡航費支援やSTA雇用等のコース生に対する経済的な支援の実施。



スーパーグローバルコース（数学分野）の主な内容

【これまでの活動や取り組み】

- 海外の優れた若手研究者を招へいして実施する国際若手ワークショップ「KTGU Mathematics Workshop for Young Researchers」の開催。 ※2015年度に第1回を開催し、2023年度末までに9回開催。
- 世界的に評価の高い5つの大学（ボン大学、京都大学、ENS、ニューヨーク大学、北京大学）間の数学ネットワーク学生交流協定「Global Math Network」を2017年に締結。
※2018年度には本協定締結機関間の研究交流を目的とした「The Second Meeting for GlobalMathNetwork」を京都大学で開催。
- コチュテル型として本学で一例目となるDDプログラムを理学研究科とリヨン高等師範学校との間で2018年度に締結。 ※2021年に本プログラムによる博士課程修了者を輩出（リヨン高等師範学校の博士課程学生1名）。
- 東アジアの著名な研究機関における数学分野の博士課程学生間交流事業として、East Asian Core Doctorial Forum in Mathematics（EACDFM）に参画し、2014年度に第1回フォーラムを京都大学で開催。
※EACDFMに参画している主要研究機関は、2023年度時点において京都大学、東京大学、東北大学、復旦大学、清華大学、国立台湾大学、ソウル大学の7機関にのぼり、特徴ある学術交流ネットワークを形成。
- 学生談話会 月1回学生主催で開催。
- 数学に意欲のある学部1・2回生に、大学院生がチューター（STA）となり学部セミナーを毎週実施。





スーパーグローバルコース（数学分野）の主な内容

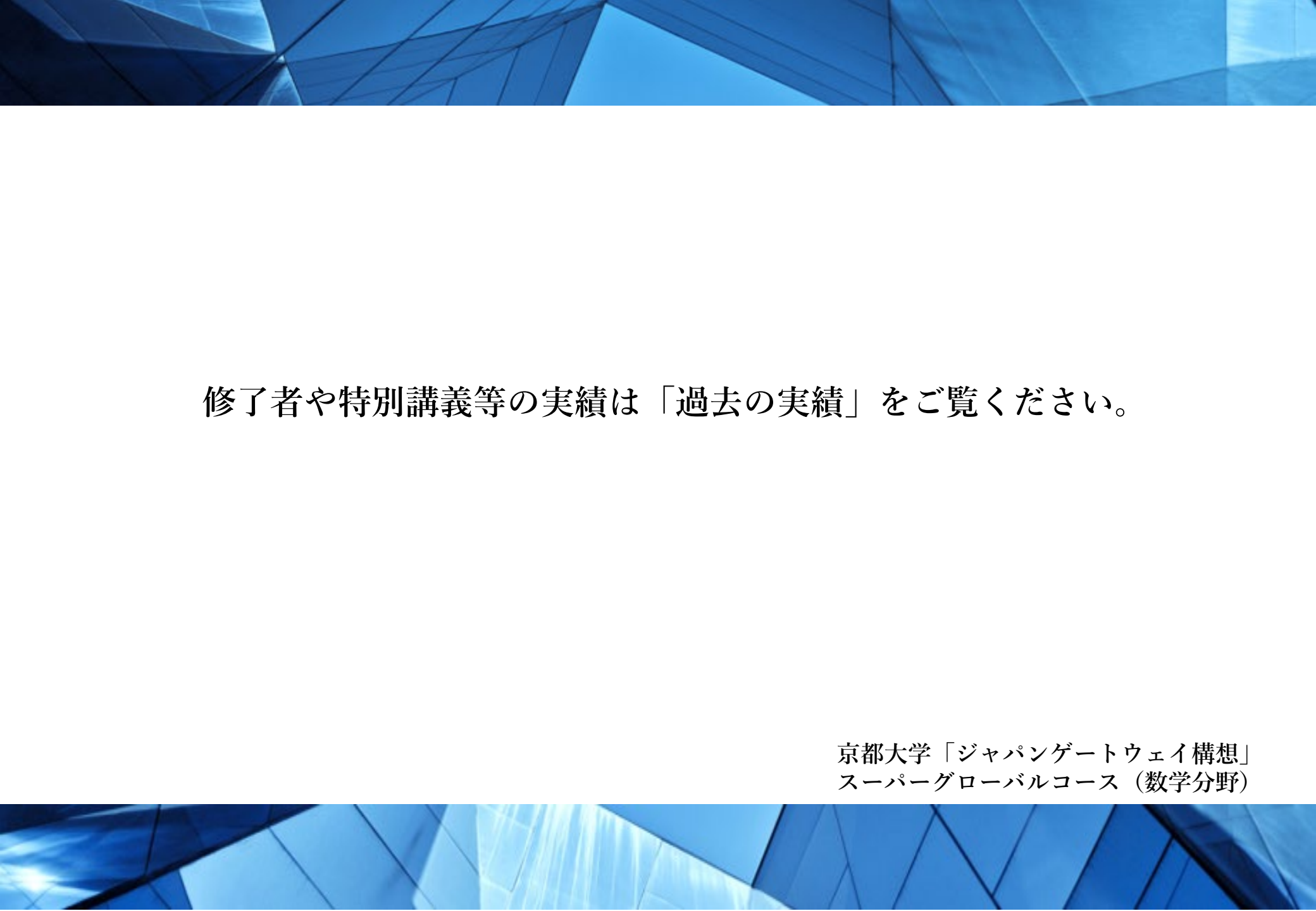
【これからの取り組み】

2023年度までスーパーグローバルコース数学系ユニットとして行ってきた事業は、2024年度以降も理学研究科数学・数理解析専攻を主体としたスーパーグローバルコース（数学分野）として継続されます。本コースは、海外研究者との共同学位指導体制を軸とした国際性に富むコースとして、大学院生の高度な研究能力を養います。

また、部局横断的な教育事業として、数学の幅広い視野を備えた人材や高度な技量を備えた国際人材の育成を目的とした「数学・数理科学イノベーション人材育成強化コース」を2024年度から開講します。

スーパーグローバルコース（数学分野）と「数学・数理科学イノベーション人材育成強化コース」の連携した取り組みにより、数学系におけるSGU事業の更なる進化を進めていきます。



The background of the slide features a blue geometric pattern, possibly representing a modern architectural structure or a network, with various shades of blue and white lines forming a complex, angular design.

修了者や特別講義等の実績は「過去の実績」をご覧ください。

京都大学「ジャパングートウェイ構想」
スーパーグローバルコース（数学分野）